




**SOUNDBAR SYSTEM BUNDLE**

**安全上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください。**

## 安全上の留意項目

1. 本書をよくお読みください。
2. 必要な時にご覧になれるよう、本書を保管してください。
3. すべての注意と警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れは乾いた布を使用して行ってください。
7. 通気孔は塞がないでください。製造元の指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発生する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
9. 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
10. 必ず指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。
11.  メーカーが指定する、または製品と一緒に購入されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、または台のみをご使用ください。カートを使用する場合、製品の載ったカートを移動する際には転倒による負傷が起きないように十分注意してください。
12. 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
13. 修理が必要な際には、Boseカスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、たとえば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への侵入、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、ただちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

## 警告/注意



この表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。



この表示は、この取扱説明書の中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることを注意喚起するものです。



のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。



この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。

- 火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- 水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。
- 火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- 許可なく製品を改造しないでください。
- 車内や船上などで使用しないでください。
- この製品に付属するスピーカーワイヤーおよび機器間接続ケーブルは、壁面埋め込み向けではありません。壁面埋め込み配線を行う際は、お住まいの地域の法令等に準拠したケーブルや施工法をご確認ください。詳しくは専門の施工業者にご相談ください。
- 電源アダプターは、必ず製品に付属しているものをご使用ください。
- 万が一の事故や故障に備えるために、よく見えて手が届く位置にあるコンセントに電源プラグを接続してください。



標高2000mを超える高地での使用には適していません。

- 付属のバッテリーは、取り扱いを誤った場合、火災や化学火傷の原因になる恐れがあります。
- バッテリーが液漏れしている場合は、漏れた液に触れたり目に入らないようにしてください。液が身体に付着した場合は、医師の診断を受けてください。
- バッテリーが含まれる製品を直射日光や炎など、過度な熱にさらさないでください。
- サウンドバーを壁掛け設置するには、次の金具のみを使用してください: Bose Soundbar Wall Bracket
- 空気の流れが妨げられる恐れがあるため、本製品を壁のくぼみや密閉された家具の中には置かないでください。
- 製品ラベルは、サウンドバーの背面とベースモジュールの底面にあります。

**注:** 本機は、FCC規則のパート15に定められたクラスBデジタル装置の規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに準拠することが確認されています。この規制要件は、住宅に設置した際の有害な干渉に対し、合理的な保護となるように策定されています。本機は無線周波数エネルギーを発生、利用、また放射することがありますので、指示通りに設置および使用されない場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置条件で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機が、電源のオン/オフによりラジオ・テレビ受信に有害な干渉を引き起こしているものと確認された場合、次の1つあるいはいくつかの方法で対処を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きや位置を変える。
- 本機と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに本機を接続する。
- 販売店もしくは経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談する。

Bose Corporationによって明確な許諾を受けていない本製品への変更や改造を行うと、この機器を使用するユーザーの権利が無効になります。

このデバイスは、FCC規則のパート15およびカナダ イノベーション・科学経済開発省のライセンス適用免除RSS規則に準拠しています。動作は次の2つの条件に従う必要があります: (1) 本装置は有害な干渉を引き起こしません。(2) 本装置は、不適切な動作を招く可能性がある干渉を含め、いかなる干渉も対応できなければなりません。

このデバイスは、FCCおよびカナダ イノベーション・科学経済開発省が一般用途向けに定めた電磁波放出制限に準拠しています。本機は、ラジエーターと身体の間を20cm以上離して設置して動作させる必要があります。このトランスミッターは、他のアンテナまたはトランスミッターと一緒に配置したり、動作させたりしないでください。

5150 ~ 5250MHzを使用するこのデバイスは、同一チャンネルの他の移動体衛星システムへの有害な干渉の恐れを低減するため、屋内専用です。

### CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

**CE** Bose Corporationは、この製品がEU指令2014/53/EUおよび該当するその他のすべてのEU指令の必須要件およびその他の該当条項に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。 [www.Bose.com/compliance](http://www.Bose.com/compliance)

本製品は、エネルギー関連製品のエコデザイン要件に関する指令2009/125/ECに従い、以下の基準または文書に準拠しています: Regulation (EC) No. 1275/2008、改正版Regulation (EU) No. 801/2013

#### Bose Soundbar 500

電力状態に関する必須情報	電力モード	
	スタンバイ*	ネットワーク待機
当該電力モードでの消費電力(230V/50Hz入力)	<0.5W	すべてのネットワークタイプ≤2.0W
機器が自動的にモードに切り替わるまでの時間	<2.5時間	≤20分
すべての有線ネットワークポートが接続され、すべてのワイヤレスネットワークポートが有効な場合、ネットワーク待機モードの消費電力(230V/50Hz入力)	N/A	≤2.0W
ネットワークポートの有効化/無効化手順。すべてのネットワークを無効にすると、スタンバイモードが有効になります。*	<b>Wi-Fi®:</b> 無効化するには、リモコンのBose Musicボタンとトラック送りボタンを同時に長押しします。有効化するには、もう一度長押しします。 <b>Bluetooth®:</b> 無効化するには、リモコンのBluetooth®ボタンを10秒間長押しして、デバイスリストを消去します。有効化するには、Bluetoothソース機器とペアリングします。 <b>Ethernet:</b> 無効化するには、Ethernetケーブルを外します。有効化するには、Ethernetケーブルを差し込みます。	

## Bose Bass Module 500

電力状態に関する必須情報	電力モード	
	スタンバイ	ネットワーク待機
当該電力モードでの消費電力(230V/50Hz入力) 機器が自動的にモードに切り替わるまでの時間 すべての有線ネットワークポートが接続され、 すべてのワイヤレスネットワークポートが有効な場合、ネットワーク待機モードの消費電力(230V/50Hz入力)	< 0.5W  < 2.5時間  N/A	Bose ワイヤレス ≤ 2.0 W  ≤ 20分  ≤ 2.0W
ネットワークポートの有効化/無効化手順。すべてのネットワークを無効にすると、スタンバイモードが有効になります。	Regulation 801/2013 (1275/2008の「Lot 26」改正)のAnnex II 3(a)に従い、ワイヤレスポートを無効化するための要件は、「単一のワイヤレスネットワーク接続を使用目的とし、有線ネットワーク接続機能のない製品には適用されません。」	

### ヨーロッパ向け:


#### 運用周波数帯: 2400 ~ 2483.5 MHz:


- Bluetooth/Wi-Fi: 最大送信出力 20 dBm EIRP 未満
- Bluetooth Low Energy: 最大電力スペクトル密度 10 dBm/MHz EIRP 未満

#### 運用周波数帯: 5150 ~ 5350 MHz および 5470 ~ 5725 MHz:

- Wi-Fi: 最大送信出力 20 dBm EIRP 未満

このデバイスを 5150 ~ 5350 MHz の周波数範囲で運用する場合、表に記載されているすべての EU 加盟国で屋内使用に限定されています。

									
BE	DK	IE	UK	FR	CY	SK	HU	AT	SE
BG	DE	PT	EL	HR	LV	LT	MT	PL	
CZ	EE	FI	ES	IT	RO	LU	NL	SI	

 この記号は、製品が家庭ごみとして廃棄されてはならず、リサイクル用に適切な収集施設に送る必要があることを意味しています。適切な廃棄とリサイクルにより、自然資源、人体の健康、環境が保護されることとなります。本製品の廃棄およびリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体、廃棄サービス、または本製品を購入された店舗にお問い合わせください。

## 低電力無線デバイスの管理規制

### 第12条

「低電力無線デバイスの管理規制」により、会社、企業、またはユーザーは、NCCの許可なく、承認済みの低電力無線デバイスの周波数を変更したり、送信出力を強化したり、元の特性および性能を改変したりすることはできません。

### 第14条

低電力無線デバイスが、航空機の安全に影響を及ぼしたり、正規の通信を妨害したりすることはできません。発見された場合、ユーザーは干渉が発生しなくなるまで直ちに使用を中止しなければなりません。上述の正規の通信とは、電気通信法に基づいて運用される無線通信を意味します。

低電力無線デバイスは、正規の通信またはISM帯電波を放射するデバイスからの干渉に対応できなければなりません。



使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。焼却しないでください。

### 中国における有害物質の使用制限表

有毒/有害物質または成分の名称および含有量						
パーツ名	有毒/有害物質および成分					
	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr(VI))	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	X	0	0	0	0	0
金属パーツ	X	0	0	0	0	0
プラスチックパーツ	0	0	0	0	0	0
スピーカー	X	0	0	0	0	0
ケーブル	X	0	0	0	0	0
この表はSJ/T 11364の規定に従って作成されています。 0: このパーツに使用されているすべての均質物質に含まれている当該有害/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を下回っていることを示します。 X: このパーツに使用されている1種類以上の均質物質に含まれている当該有害/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を上回っていることを示します。						

### 台湾における有害物質の使用制限表

機器名: Powered Speaker、型式: 424096						
機器名: ベースモジュール、型式: 425843						
制限される物質および化学記号						
ユニット名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr+6)	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	-	○	○	○	○	○
金属パーツ	-	○	○	○	○	○
プラスチックパーツ	○	○	○	○	○	○
スピーカー	-	○	○	○	○	○
ケーブル	-	○	○	○	○	○
注1: 「○」は、制限される物質のパーセント含有量が、参照値のパーセントを超えていないことを示します。 注2: 「-」は、制限される物質が免除に該当することを示します。						

#### 製品情報の控え

シリアル番号とモデル番号は、サウンドバーの背面とベースモジュールの底面にあります。

シリアル番号: \_\_\_\_\_

モデル番号: \_\_\_\_\_

この取扱説明書と共に、ご購入時の領収書を保管することをお勧めします。製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイトから簡単にいきます。

**製造日:** シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「0」は2010年または2020年です。

**中国における輸入元:** Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Part C, Plant 9, No. 353 North Riying Road, China (Shanghai) Pilot Free Trade Zone

**EUにおける輸入元:** Bose Products B.V., Gorslaan 60, 1441 RG Purmerend, The Netherlands

**台湾における輸入元:** Bose Taiwan Branch, 9F-A1, No.10, Section 3, Minsheng East Road, Taipei City 104, Taiwan  
Phone Number: +886-2-2514 7676

**メキシコにおける輸入元:** Bose de México, S. de R.L. de C.V., Paseo de las Palmas 405-204, Lomas de Chapultepec, 11000 México, D.F. Phone Number: +5255 (5202) 3545

**入力定格:**

- サウンドバー : DC 24V 〻、 1.875A
- ベースモジュール: 100 ~ 240V ~ 50/60 Hz、 55W

**セキュリティ情報**

この製品は、Boseから自動セキュリティアップデートを受信することができます。自動セキュリティアップデートを受信するには、Bose Musicアプリで製品のセットアップを完了し、製品をインターネットに接続する必要があります。**セットアップを完了しない場合は、Boseが公開するセキュリティアップデートをお客様ご自身でインストールする必要があります。**

Amazon、Alexa、Amazon Musicおよびそれらに関連するすべてのロゴは、Amazon, Inc. またはその関連会社の商標です。

Apple、Appleのロゴ、およびAirPlayはApple Inc.の商標であり、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

Works with Appleバッジの使用は、アクセサリーがバッジに記載されている技術に対応するよう専用設計され、Apple社が定める性能基準に適合しているとデベロッパによって認定されていることを示します。

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標で、Bose Corporationはこれらの商標を使用する許可を受けています。

 **DOLBY AUDIO**™ Dolby、Dolby Audio、およびダブルDマークはDolby Laboratoriesの商標です。

GoogleおよびGoogle PlayはGoogle LLCの商標です。

 **HDMI**™ HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIのロゴはHDMI Licensing Administrator, Inc.の米国および他の国々における商標または登録商標です。

この製品はiHeartRadioサービスに対応しています。iHeartRadioはiHeartMedia, Inc.の登録商標です。

この製品はMicrosoftの特定の知的財産権によって保護されています。Microsoftから使用許諾を受けずに、保護対象の技術をこの製品以外で使用または配布することは禁じられています。

PandoraはPandora Media, Inc.の登録商標であり、許可を得て使用しています。

この製品にはSpotifyソフトウェアが組み込まれており、次のサイトに掲載されたサードパーティのライセンスが適用されます。[www.spotify.com/connect/third-party-licenses](http://www.spotify.com/connect/third-party-licenses)

SpotifyはSpotify ABの登録商標です。

この製品は、Universal Electronics Inc.のライセンスに基づき、設計されています。© UEI 2000-2018

Wi-FiはWi-Fi Alliance®の登録商標です。

ADAPTiQ、Bose、Bose Bass Module、Bose Music、Bose Soundbar、Bose Soundbar Universal Remote、およびBose Soundbar Wall Bracketは、Bose Corporationの商標です。

Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639

©2020 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。



Bose Soundbar 500の製品コンポーネントとして含まれるソフトウェアパッケージに適用されるライセンスの開示内容を表示するには、次の手順を実行します。

1. リモコンのBluetooth ボタンとトラック戻しボタンK1を5秒間長押しします。
2. USBケーブルをサウンドバーの背面にあるSERVICE端子に接続します。
3. ケーブルのもう一方をパソコンに接続します。
4. パソコンのブラウザーウィンドウに「<http://203.0.113.1/opensource>」と入力して、エンドユーザー使用許諾契約書(「EULA」)とライセンス開示情報を表示します。

次のライセンス開示内容は、Bose Bass Module 500製品のコンポーネントとして含まれるFreeRTOSソフトウェアパッケージに適用されます。

以下に定める条件に従い、本ソフトウェアおよび関連文書のファイル（以下「本ソフトウェア」）の複製を取得するすべての者に対し、本ソフトウェアを無制限に扱うことを無償で許諾します。これには、本ソフトウェアの複製を使用、複製、変更、結合、発行、配布、サブライセンス、および/または販売する権利、および本ソフトウェアを提供する相手に同じことを許諾する権利も無制限に含まれますが、これらに限定されません。

上記の著作権表示および本許諾表示を、本ソフトウェアのすべての複製または重要な部分に記載するものとします。

本ソフトウェアは明示または黙示を問わず、商品性、特定目的への適合性および非侵害性の保証などいかなる種類の保証もなく、「現状有姿」で提供されます。作成者または著作権所有者は、いかなる場合も、契約、不法行為その他を問わず、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアの使用や取引に起因または関連した請求、損害またはその他の責任を一切負わないものとします。

## 内容物の確認

内容物 .....	14
-----------	----

## システムの設置

推奨事項 .....	15
システムの設置例 .....	16
サウンドバーを壁に取り付ける .....	16

## 電源

サウンドバーを電源に接続する .....	17
ベースモジュールを電源に接続する .....	17
ベースモジュールとサウンドバーを接続する .....	18
ネットワーク待機状態 .....	19

## BOSE MUSICアプリのセットアップ

Bose Musicアプリをダウンロードする .....	20
------------------------------	----

## BOSE MUSICアプリを既にお使いのユーザー

既存のアカウントにサウンドバーを追加する .....	21
別のWi-Fi®ネットワークに接続する .....	21

## ADAPTiQ自動音場補正

Bose Musicアプリを使用してADAPTiQ自動音場補正を実行する .....	22
--	----

## システムの操作

音声アシスタントの操作 .....	23
リモコンの機能 .....	24
電源 .....	25
ソース機器 .....	26
プリセット .....	27
メディアの再生、チャンネル切り替え、音量調節 .....	28
CATV/BS/CS用チューナーの機能 .....	29
低音を調節する .....	29
他社製リモコンをプログラムする .....	29

## 音声アシスタント

音声アシスタントのオプション .....	30
音声アシスタントのセットアップ .....	30
Alexaにアクセスする .....	31
音声で操作する .....	31
サウンドバーの操作ボタンを使用する .....	32
Googleアシスタントにアクセスする .....	33
音声で操作する .....	33
サウンドバーの操作ボタンを使用する .....	34
Googleアシスタントで音楽を再生する .....	35
デフォルトの音楽サービスを選択する .....	35

## プリセットのカスタマイズ

プリセットを設定する .....	36
プリセットを再生する .....	38

**BLUETOOTH® 接続**

モバイル機器を接続する .....	39
モバイル機器の接続を解除する .....	40
モバイル機器を再接続する .....	40
別のモバイル機器を接続する .....	41
サウンドバーのデバイスリストを消去する .....	41

**AIRPLAYによる音楽のストリーミング再生**

コントロールセンターから音楽をストリーミング再生する .....	42
アプリから音楽をストリーミング再生する .....	42

**システムの状態**

サウンドバーの状態 .....	43
Wi-Fiの状態 .....	43
Bluetooth接続の状態 .....	43
音声アシスタントの状態 .....	44
メディアの再生と音量調節 .....	45
アップデートとエラーの状態 .....	45
ベースモジュールの状態 .....	46

**高度な機能**

サウンドバーをアップデートする .....	47
Wi-Fi機能のオン/オフを切り替える .....	47

**補足事項**

リモコンの電池の挿入 .....	48
システムのお手入れについて .....	49
交換部品とアクセサリ .....	49
保証 .....	49

**トラブルシューティング**

最初にお試しいただくこと .....	50
その他の対処方法.....	50
サウンドバーをリセットする .....	56

**付録: セットアップガイド**

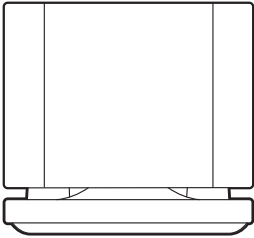
接続オプション.....	57
サウンドバーをテレビに接続する .....	58
オプション1(推奨): HDMI eARC端子またはARC端子接続.....	58
オプション2: 光デジタル接続.....	59
音が出ることを確認する .....	60

## 内容物

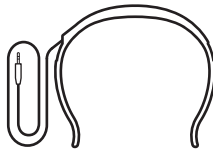
下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



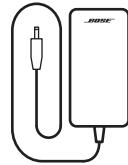
Bose Soundbar 500



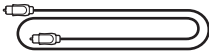
Bose Bass Module 500



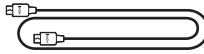
ADAPTiQ用ヘッドセット



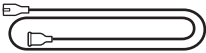
電源アダプター



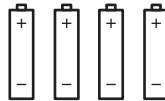
光ケーブル



HDMIケーブル



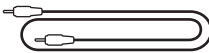
電源コード(2)\*



単三形乾電池(4本)



Bose Soundbar  
Universal Remote



3.5 mm オーディオケーブル

\* 電源コードは2つ以上付属する場合があります。お使いの国・地域に適したものをお使いください。

**注:** 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが発見された場合は、使用せず、直ちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。

次のサイトをご参照ください。 [worldwide.Bose.com/Support/SSB](http://worldwide.Bose.com/Support/SSB)

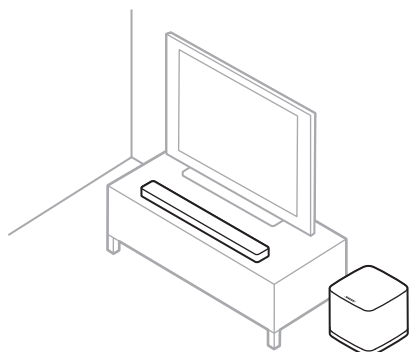
## 推奨事項

- サウンドバーやベースモジュールの上には物を置かないでください。
- ワイヤレス信号の干渉を回避するには、ほかのワイヤレス機器から30～90 cmほど離れた場所に設置します。サウンドバーは金属製キャビネットや他のAV機器、熱源などから離れた場所に設置してください。キャビネットの中には置かないでください。
- 電源コンセントが近くにある場所に設置してください。

### コンポーネント 推奨される設置方法

コンポーネント	推奨される設置方法
<p><b>サウンドバー</b></p>	<p>サウンドバーは、グリルを部屋の中央に向けた状態で、テレビの真下(推奨)または真上に配置します。</p> <p>サウンドバーは、ゴムベース面を下にして安定した水平な面に設置してください。正しく設置するには、両側の足が台の上にとしっかりと載っている必要があります。特に大理石やガラス、磨き上げた木などの滑りやすい表面では、音の振動でサウンドバーの位置がずれることがあります。</p> <p>サウンドバーの背面を壁や家具などから1cm以上離してください。背面にある開口部が塞がれると、音響性能が低下する恐れがあります。</p> <p>最高の音質をお楽しみいただくため、サウンドバーを戸棚の中に設置したり、お部屋の角に斜めに設置したりしないでください。</p> <p>サウンドバーを本棚やテレビ台などに置く場合は、最適なオーディオ性能を得るために、できるだけ棚や台の前面に近づけてください。</p>
<p><b>ベースモジュール</b></p>	<p>ベースモジュールをテレビと同じ壁に沿って置くか、あるいは左右の壁沿いでテレビの近辺(テレビのある壁から見て部屋の3分の1以内の場所)に置きます。</p> <p>ベースモジュールを安定した水平な面に設置します。特に大理石やガラス、磨き上げた木などの滑りやすい表面では、音の振動でベースモジュールの位置がずれることがあります。</p> <p>ベースモジュールの背面(Boseロゴのある側とは反対側)を、壁や家具などから8 cm以上離してください。前面下部にある開口部が塞がれると、音響性能が低下する恐れがあります。</p> <p>低音を強めたい場合は、ベースモジュールを壁や部屋の隅に近づけてください。低音を弱めたい場合は、ベースモジュールを壁や部屋の隅から離してください。</p>

## システムの設置例



### 注意:

- サウンドバーの前面や背面、または天面を下にした状態で使用しないでください。
- ベースモジュールの天面や側面を下にした状態で使用しないでください。



## サウンドバーを壁に取り付ける

サウンドバーは壁に取り付けることができます。Bose Soundbar Wall Bracketは、お近くのボーズ製品取扱店、または弊社Webサイトでお求めいただけます。

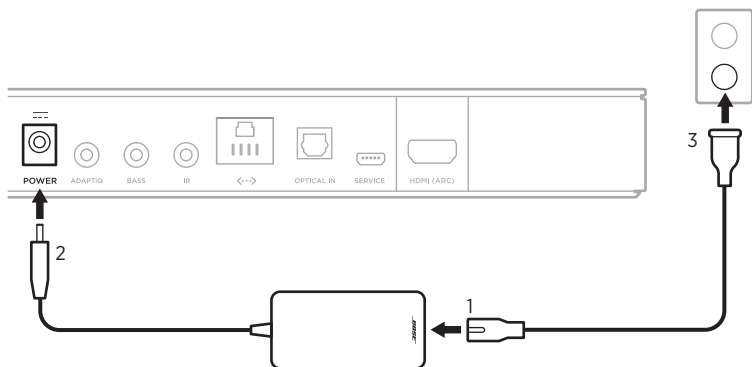
次のサイトをご参照ください。 [worldwide.Bose.com/Support/SSB](http://worldwide.Bose.com/Support/SSB)

**注意:** 純正以外のアクセサリーを使用してサウンドバーを設置しないでください。



## サウンドバーを電源に接続する

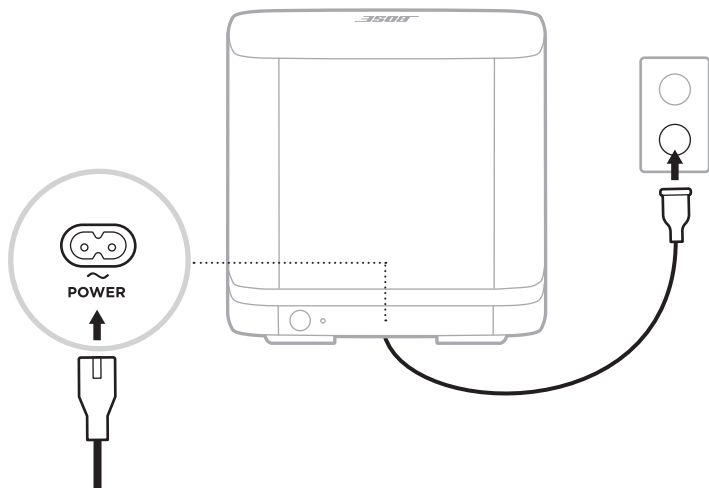
1. 電源アダプターに電源コードを接続します。
2. 電源アダプターをサウンドバーの背面にある電源端子  $\text{---}$  に接続します。
3. 電源コードの反対側を、壁のコンセントに差し込みます。



サウンドバーの電源がオンになり、ライトバーがオレンジ色に点灯します。

## ベースモジュールを電源に接続する

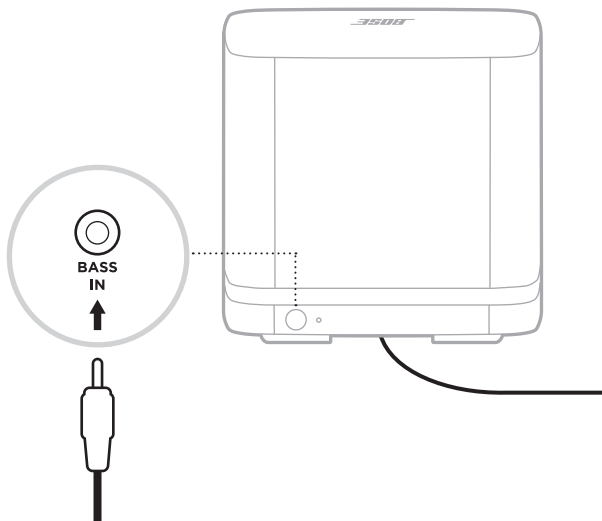
1. ベースモジュールの  $\text{POWER}$  端子に電源コードを接続します。



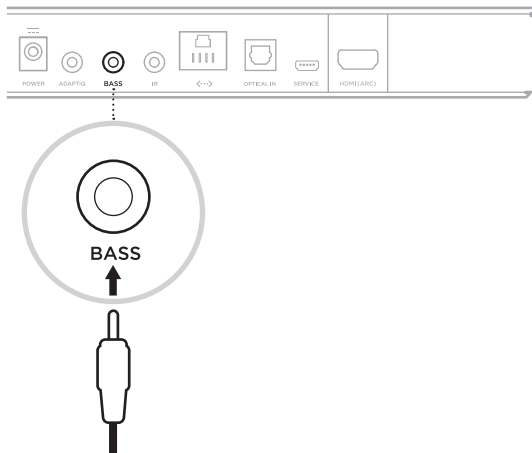
2. 電源コードの反対側を、壁のコンセントに差し込みます。

## ベースモジュールとサウンドバーを接続する

1. 3.5 mmオーディオケーブルの一方を、ベースモジュールの BASS IN 端子に接続します。




2. ケーブルの反対側をサウンドバーの BASS 端子に接続します。



## ネットワーク待機状態

音楽の再生を停止してボタンを20分間操作しないと、サウンドバーがネットワーク待機状態になります。サウンドバーをネットワーク待機状態から復帰するには、次のいずれかの操作を行います。

- モバイル機器またはBose Musicアプリでオーディオを再生または再開します。
- リモコンの電源ボタン 、ソースボタン(26ページを参照)、またはプリセットボタン(27ページを参照)を押します。

### 注:

- ネットワーク待機状態で音声アシスタントにアクセスするには、Bose Musicアプリを使用してサウンドバーを設定し、マイクをオンにしておきます(32ページを参照)。
- Bose Musicアプリを使用してスタンバイタイマーを無効にすることができます。

Bose Musicアプリを使用すると、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器からサウンドバーのセットアップや操作を行うことができます。

このアプリを使用して、音楽のストリーミング再生、プリセットの設定と変更、音楽サービスの追加、インターネットラジオ局の検索、Amazon AlexaやGoogleアシスタントの設定、サウンドバーの設定の管理を行うことができます。

**注:** Bose Musicアプリで別のボーズ製品用のBoseアカウントを既に作成してある場合は、「Bose Musicアプリを既にお使いのユーザー」(21ページ)をご覧ください。

## BOSE MUSICアプリをダウンロードする

1. モバイル機器でBose Musicアプリをダウンロードします。



2. アプリの手順に従ってください。

## 既存のアカウントにサウンドバーを追加する

1. Bose Music アプリの[My Bose]画面で、+ をタップします。

**注:** [My Bose]画面に戻るには、画面の左上隅にある  をタップします。

2. サウンドバーを選択します。



**注:** サウンドバーが表示されていない場合は、サウンドバーが共有されているかどうか、セットアップした人に確認してください。

3. [デバイスの追加]をタップします。

4. アプリの手順に従ってください。

## 別のWI-FIネットワークに接続する

ネットワーク名やパスワードを変更した場合や、他のネットワークに変更する、または追加する場合は、異なるネットワークに接続します。

1. ライトバーがオレンジに点灯するまで、リモコンのTVボタン  とトラック戻しボタン  を同時に長押しします。

2. お使いのモバイル機器で、Wi-Fi設定を開きます。

3. [Bose Soundbar 500]を選択します。

4. Bose Music アプリを開いて、アプリに表示される手順に従います。

**注:** もしアプリでサウンドバーをセットアップする画面が表示されない場合は、左上の[My Bose]アイコンをタップします。+ ボタンをタップして、製品を追加します。

Bose Musicアプリを使用してシステムを設定し終わったら、システムの音響性能を最大限に引き出すため、ADAPTIQ自動音場補正の実行を求めるメッセージが表示されます。ADAPTIQ自動音場補正は、システムが設置されている部屋の5箇所で測定を行い、音場を補正します。音場補正を実行するには、お部屋を10分ほど静かな状態に保つ必要があります。

ADAPTIQ自動音場補正は、最適な音場にするためにADAPTIQ用ヘッドセット(システムに付属)に内蔵されたマイクでお部屋の音響特性を測定します。

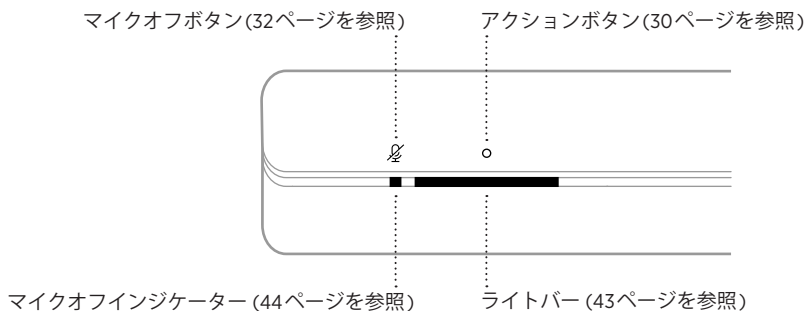
## BOSE MUSICアプリを使用してADAPTIQ自動音場補正を実行する

サウンドバーやベースモジュール、または家具を移動した場合は、ADAPTIQ自動音場補正を再度実行して音質を調整してください。

1. Bose Musicアプリの[My Bose]画面で、お使いのサウンドバーを選択します。
2. 画面の右下にあるサウンドバーの画像をタップします。
3. [設定]>[ADAPTIQ]>[再実行]をタップします。
4. アプリの手順に従ってください。

システムの操作は、サウンドバー天面のボタンとリモコンで行います。

**注:** Bose Music アプリを使用してシステムを操作することもできます。



## 音声アシスタントの操作

アクションボタン ○ とマイクオフボタン ✕ を使用して、Amazon Alexa (32ページを参照) または Google アシスタント (34ページを参照) を操作することができます。

## リモコンの機能

リモコンを使用して、システムの操作、サウンドバーに接続したソース機器の操作、Bluetooth接続、プリセットの設定と操作を行います。

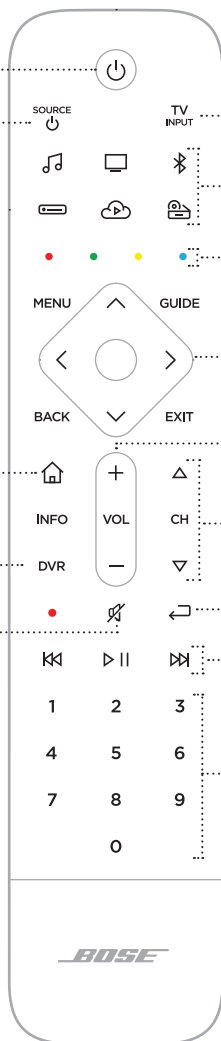
システムの電源をオン/  
オフします  
(25ページを参照)。

選択したソース機器の  
電源をオン/オフします  
(26ページを参照)

インターネットテレビの  
ホームページまたは現在の  
機器のホームメニューを  
表示します

ビデオに録画されている  
番組を一覧表示します

ミュート/  
ミュート解除ボタン  
(28ページを参照)



テレビに接続した機器を  
選択します

ソースボタン(26ページを参照)

CATV/BS/CSチューナー用機能ボタン  
(29ページを参照)

ナビゲーションパッド

音量調節ボタン  
(28ページを参照)

チャンネル操作ボタン  
(28ページを参照)

前のチャンネル/チャプター/  
トラックに移動します  
(28ページを参照)


メディアの再生コントロールボタン  
(28ページを参照)

数字キーパッド  
1~6は、プリセット設定  
したストリーミング音楽  
ソースの再生に使用します  
(36ページを参照)

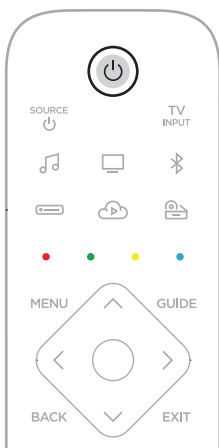
**注:** Bose Musicアプリを使用してリモコンをプログラムします。




## 電源

システムの電源をオンまたはオフにするには、リモコンの電源ボタン  を押します。

電源をオンにすると、最後に使用したソースに応じてリモコンのボタンが点灯します。

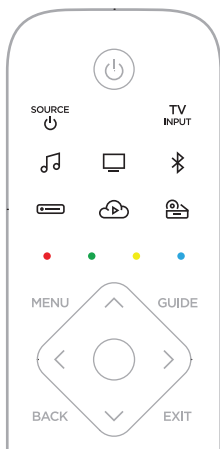


### 注:

- サウンドバーを電源コンセントに接続すると、サウンドバーの電源が自動的にオンになります。
- 初めてサウンドバーの電源をオンにしたとき、サウンドバーのソースはTV  になります。
- Bose Musicアプリを使用して音声アシスタントが設定されていて、マイクがオンになっていれば、サウンドバーの電源がオフになっていても音声アシスタントにアクセスできます(44ページを参照)。

## ソース機器

リモコンにはプログラム可能なソースボタン(□、≡、☁、📺)があります。これらのボタンをプログラムして、テレビ、CATV/BS/CS用チューナー、ゲーム機、DVD/Blu-ray Disc™プレーヤーなどの機器を操作できます。リモコンを使ってテレビ入力を切り替え、ソースを切り替えることができます。



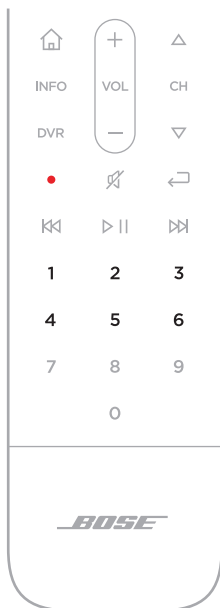
1. リモコンの該当するソースボタン(□、≡、☁、📺)を押します。  
選択したソースに応じて、リモコンのボタンが点灯します。
2. SOURCE ボタンを押します。  
ソース機器の電源がオンになります。
3. TV INPUT ボタンを押します。
4. 適切なテレビ入力を選択します。

### 注:

- テレビのCEC機能が有効の場合、ソースの電源をオンにすると、テレビ入力が自動的にソースに切り替わることがあります。
- リモコンのソースボタンを押しても、テレビ入力を切り替えることはできません。これらのボタンは、サウンドバーの電源をオンにして、選択したソース機器の操作できるようにリモコンのモードを切り替えるためのものです。
- Bose Musicアプリを使用してセットアップするときに、リモコンでテレビを操作できるようにプログラムします。テレビを交換する場合は、Bose Musicアプリを使用してリモコンに新しいテレビをプログラムします。

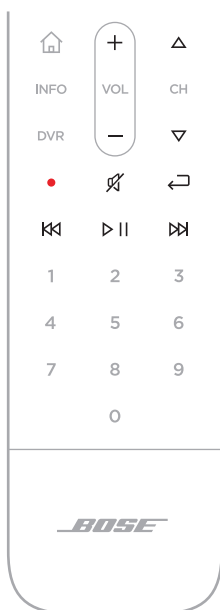
## プリセット

サウンドバーには6つのプリセットがあり、お気に入りの音楽サービスを自由に設定できます。設定しておくことで、リモコンのボタンやBose Musicアプリを使用して、オーディオをいつでも簡単に再生できます。



プリセットの詳細については、「プリセットのカスタマイズ」(36ページ)をご覧ください。

## メディアの再生、チャンネル切り替え、音量調節



機能	操作方法
再生/一時停止	▶   ボタンを押します。 一時停止すると、再生を再開するまでの間、ライトバーの両端が白に点灯します。
トラック戻し	⏮ ボタンを押します。
トラック送り	⏭ ボタンを押します。
前のチャンネル/チャプター/ トラックへの移動	⏪ ボタンを押します。
音量を上げる	+ ボタンを押します。 <b>注:</b> 音量をすばやく上げるには、+ ボタンを長押しします。

機能	操作方法
音量を下げる	— ボタンを押します。 <b>注:</b> 音量をすばやく下げるには、— ボタンを長押しします。
ミュート/ミュート解除	⊘ ボタンを押します。 ミュートすると、ミュート解除するまでの間、ライトバーの左端が白に点灯します。 <b>注:</b> + ボタンを押して、ミュート解除することもできます。
次のチャンネルへ移動	△ ボタンを押します。
前のチャンネルへ移動	▽ ボタンを押します。

## CATV/BS/CS用チューナーの機能

リモコンの赤、緑、黄、青の各ボタンは、CATV/BS/CS用チューナーのカラーボタンの機能に対応しています。CATV/BS/CS用チューナーの取扱説明書をご覧ください。

## 低音を調節する

1. Bose Music アプリの[My Bose]画面で、お使いのサウンドバーを選択します。
2. 画面の右下にあるサウンドバーの画像をタップします。
3. [調整]をタップして低音を調整します。

## 他社製リモコンをプログラムする

CATV/BS/CS用チューナーのリモコンなど、他社製リモコンをプログラムして、サウンドバーを操作することができます。手順については、他社製リモコンの取扱説明書またはWebサイトをご覧ください。

プログラムが完了すると、電源のオン/オフや音量など、サウンドバーの基本的な機能を他社製リモコンで操作できるようになります。

**注:** すべての他社製リモコンがサウンドバーに対応しているわけではありません。他社製リモコンでサウンドバーを操作するには、リモコンがIR (赤外線) 信号を送信できる必要があります。

## 音声アシスタントのオプション

Amazon AlexaまたはGoogleアシスタントにすばやく簡単にアクセスできるようにサウンドバーを設定することができます。

**注:** 一部の言語や国ではAmazon AlexaやGoogleアシスタントをご利用になれません。

オプション	使用方法
Amazon Alexa	話しかけるか、アクションボタン○を使います (32ページを参照)。
Googleアシスタント	話しかけるか、アクションボタン○を使います (34ページを参照)。

**注:** Amazon AlexaとGoogleアシスタントに同時にアクセスできるようにサウンドバーを設定することはできません。

## 音声アシスタントのセットアップ

始める前に、モバイル機器とサウンドバーが同じWi-Fiネットワークに接続されていることを確認してください。

音声アシスタントを設定するには、Bose Musicアプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。

**注:** 音声アシスタントを設定するときは、Bose Musicアプリで使用したのと同じ音楽サービスのアカウントを必ず使用してください。

## ALEXAにアクセスする

サウンドバーはAmazon Alexaに対応しています。Alexaでは、音楽を再生したり、ニュースを聞いたり、天気を確認したり、スマートホームデバイス进行操作したりすることができます。サウンドバーでAlexaを使用するのは簡単です。「アレクサ」と呼びかけるか、アクションボタン○をタップするだけで、Alexaはすぐに反応します。

Alexaでできることの詳細については、次のサイトをご覧ください。  
<https://www.amazon.com/usealexa>


**注:** 一部の言語や国ではAlexaを利用できません。

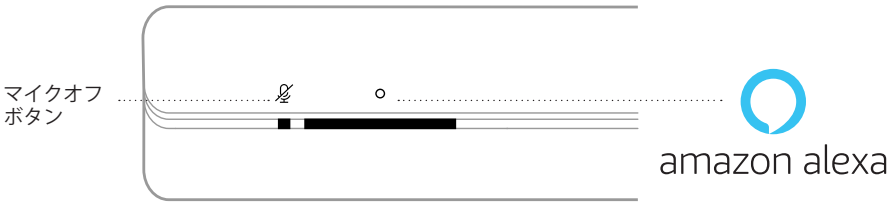
## 音声で操作する



最初に「アレクサ」と呼びかけて、次のように話しかけます。

できること	呼びかけ方の例
Alexaに話しかける	今日の天気は？
音楽を再生する	ベートーベンの曲をかけて。 <b>注:</b> Amazon Musicがデフォルトの音楽サービスとして設定されています。デフォルトの音楽サービスを変更するには、Alexaアプリを使用します。
音量を調節する	音量を上げて。
特定の音楽サービスから再生する	TuneInでNPRラジオをかけて。 (音楽サービスによってはサービスしていない国や地域があります。) <b>注:</b> Amazon Alexaがサポートしていない音楽サービスもあります。
特定のスピーカーで再生する	リビングでファンクミュージックをかけて。 <b>注:</b> Bose Musicアプリで設定したスピーカー名を必ず話してください。複数のスピーカーが同じ名前の場合は、Alexaアプリで設定した名前を使用するか、Bose Musicアプリで名前を変更します。
次の曲にスキップする	次の曲。
タイマーをセットする	タイマーを5分にセットして。
他のスキルを調べる	新しいスキルを教えてください。
Alexaを停止する	ストップ。

## サウンドバーの操作ボタンを使用する

Alexaを操作するには、アクションボタン○とマイクオフボタンを使用します。操作ボタンはサウンドバーの天面にあります。



できること	操作方法
Alexaに話しかける	○ ボタンをタップして、リクエストを言います。 できることについては、次のサイトをご覧ください。 <a href="https://www.amazon.com/usealexa">https://www.amazon.com/usealexa</a>
アラームやタイマーを停止する	○ ボタンをタップします。
Alexaを停止する	○ ボタンをタップします。
マイクをオンまたはオフにする	 ボタンをタップします。 <b>注:</b> マイクをオフにすると、インジケーター  が赤に点灯し、Alexaにアクセスできなくなります。



## GOOGLEアシスタントにアクセスする

Bose Soundbar 500はGoogleアシスタントに対応しており、ハンズフリーでさまざまな情報を確認できます。また、話しかけるだけでお気に入りのメディアを再生、一時停止したりできます。

Googleアシスタントのできることの詳細については、次のサイトをご覧ください：  
<https://support.google.com/assistant>



**注：**一部の言語や国ではGoogleアシスタントを利用できません。

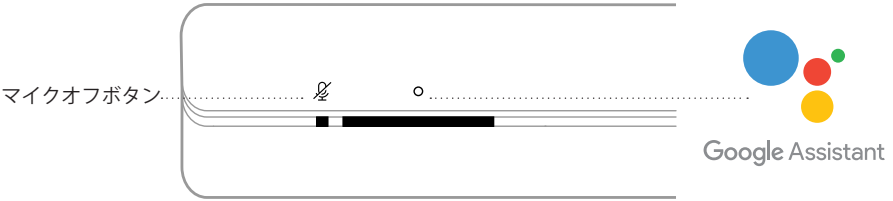
## 音声で操作する

最初に「OK Google」と呼びかけてから、リクエストを言います。

できること	呼びかけ方の例
Googleの知恵を借りる	スペイン語で友達って何て言うの？
家族で楽しむ	象の鳴き声を聞かせて。
リマインダーをセットする	木曜日にお母さんに電話するってリマインドして。
予定表をチェックする	今日の予定は？
スマートホームデバイスを操作する	ライトを消して。

## サウンドバーの操作ボタンを使用する

アクションボタン  とマイクオフボタン  を使用して、Googleアシスタントを操作することができます。操作ボタンはサウンドバーの天面にあります。



できること	操作方法
Googleアシスタントに話しかける	○ ボタンをタップして、リクエストを言います。 できることについては、次のサイトをご覧ください。 <a href="https://support.google.com/assistant">https://support.google.com/assistant</a>
アラームやタイマーを停止する	○ ボタンをタップします。
Googleアシスタントを停止する	○ ボタンをタップします。
マイクをオンまたはオフにする	 ボタンをタップします。 マイクをオフにすると、インジケーター  が赤に点灯し、Googleアシスタントにアクセスできなくなります。

## GOOGLEアシスタントで音楽を再生する

Googleアシスタントに話しかけて、デフォルトの音楽サービスまたは特定の音楽サービスから音楽を再生できます。

最初に「OK Google」と呼びかけてから、リクエストを言います。

できること	呼びかけ方の例
音楽を再生する	<p>ジャズをかけて。</p> <p><b>注:</b> Googleアシスタントはデフォルトの音楽サービスを使用します。デフォルトの音楽サービスを変更するには、Googleアシスタントアプリを使用します。</p>
スピーカーを操作する	<p>音量を上げて。</p>
特定の音楽サービスから再生する	<p>TuneInでNPRラジオをかけて。 (音楽サービスによってはサービスしていない国や地域があります。)</p> <p><b>注:</b> Googleアシスタントがサポートしていない音楽サービスもあります。</p>
特定のスピーカーで再生する	<p>キッチンでヒップホップをかけて。</p> <p><b>注:</b> Bose Musicアプリで設定したスピーカー名を必ず話してください。複数のスピーカーが同じ名前の場合は、Googleアシスタントアプリで設定した名前を使用するか、Bose Musicアプリで名前を変更します。</p>

## デフォルトの音楽サービスを選択する


Googleアシスタントの初期設定中に、Googleアシスタントアプリからデフォルトの音楽サービスの選択を求められます。Bose製品でGoogleアシスタントを使用する場合、サポートされているデフォルトのサービスはPandoraとSpotifyだけです。セットアップ中には他の音楽サービスもリストに表示されていますが、それらはサポートされていません。

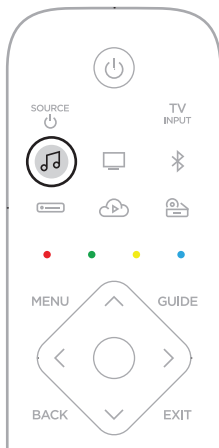
デフォルトの音楽サービスには、PandoraまたはSpotifyを選択してください(音楽サービスによってはサービスしていない国や地域があります)。サポートされていない音楽サービスを選択した場合、音楽の再生をリクエストするとエラーメッセージが聞こえます。

Bose Music アプリとリモコンを使用して、プリセットを操作できます。

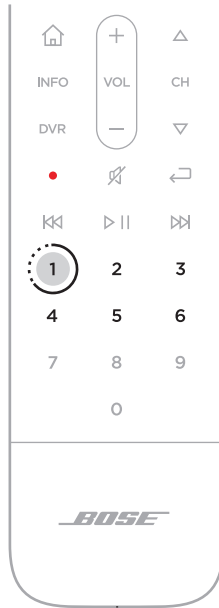
**注:** Bluetooth モードをプリセットに設定することはできません。

## プリセットを設定する


1. Bose Music アプリを使用して音楽をストリーミング再生します。
2. リモコンの Bose Music ボタン  を押します。

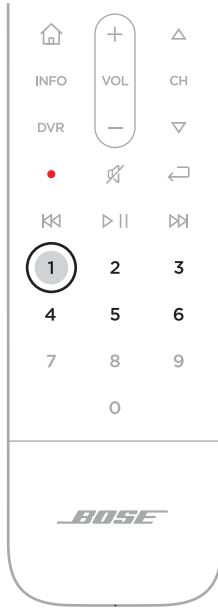


3. ビープ音が聞こえるまで、プリセットボタンを長押しします。



## プリセットを再生する

1. リモコンのBose Music ボタン  を押します。
2. 音楽を再生するには、プリセットボタンを押します。



Bluetoothワイヤステクノロジーにより、スマートフォン、タブレット、パソコンなどの音楽をワイヤレス再生することができます。モバイル機器から音楽をストリーミング再生するには、モバイル機器とサウンドバーを接続する必要があります。

## モバイル機器を接続する

1. リモコンのBluetoothボタンを押します。



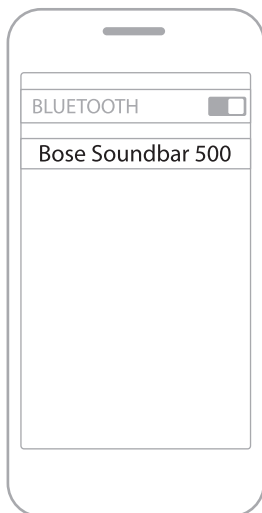
ライトバーが青に点滅します。

2. モバイル機器のBluetooth機能をオンにします。

**ヒント:** 通常、Bluetoothメニューは設定メニューにあります。

3. デバイスリストからお使いのサウンドバーを選択します。

**ヒント:** Bose Music アプリでサウンドバーに付けた名前を探してください。サウンドバーに名前を付けていない場合は、デフォルトの名前が表示されます。



接続すると、ピープ音が聞こえます。ライトバーが白に点灯してから次第に消灯します。モバイル機器のリストにサウンドバーの名前が接続済みと表示されます。

## モバイル機器の接続を解除する

モバイル機器の接続を解除するには、Bose Music アプリを使用します。

**ヒント:** モバイル機器の Bluetooth 設定を使用することもできます。Bluetooth 機能を無効にすると、他の機器との接続もすべて解除されます。

## モバイル機器を再接続する

リモコンの Bluetooth ボタンを押します。

サウンドバーは、最後に接続していた機器に自動的に再接続します。

### 注:

- モバイル機器の Bluetooth 機能が有効であることを確認します。
- 機器との距離が 9 m 以内で、電源がオンになっている必要があります。

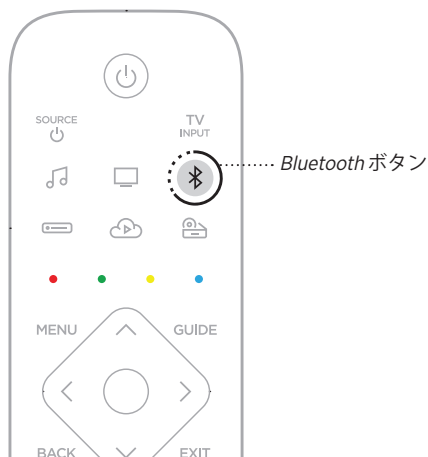


## 別のモバイル機器を接続する

システムのデバイスリストには、機器を最大8台まで登録でき、同時に2台まで接続できます。

**注:** ただし、一度に音楽を再生できる機器は1台だけです。

1. リモコンのBluetooth ボタン※を長押しします。



ライトバーが青に点滅します。

2. モバイル機器で、デバイスリストから本製品を選択します。

**注:** モバイル機器のBluetooth機能が有効であることを確認します。

## サウンドバーのデバイスリストを消去する

1. ライトバーが白で2回点滅してから次第に消灯するまで、※ ボタンを10秒間長押しします。

ライトバーが青に点滅します。

2. モバイル機器のBluetoothリストからサウンドバーを削除します。


すべての機器が消去され、サウンドバーが新しい機器と接続可能な状態になります(39ページを参照)。

このサウンドバーはAirPlay 2オーディオの再生に対応しており、お持ちのApple製品からこのサウンドバーに音楽を簡単にストリーミング再生することができます。複数のスピーカーで再生することも可能です。


**注:**

- AirPlay 2を使用するには、iOS 11.4以降を実行しているApple製品が必要です。
- Apple製品とサウンドバーは同じWi-Fiネットワークに接続されている必要があります。
- AirPlayの詳細情報については、次のサイトをご覧ください。  
<https://www.apple.com/jp/airplay>

## コントロールセンターから音楽をストリーミング再生する

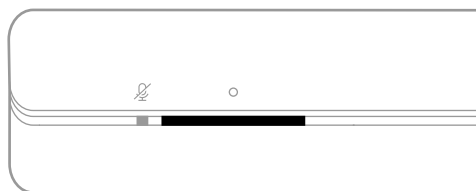
1. Apple製品でコントロールセンターを開きます。
2. 画面の右上隅にあるオーディオカードを長押しして、AirPlayアイコン  をタップします。
3. サウンドバーまたはスピーカーを選択します。

## アプリから音楽をストリーミング再生する

1. 音楽アプリ(Apple Musicなど)を開き、再生する曲を選択します。
2.  をタップします。
3. サウンドバーまたはスピーカーを選択します。

## サウンドバーの状態

サウンドバーの前面にあるLEDライトバーには、サウンドバーの状態が表示されます。



注：ライトバーには1つの選択機器の状態のみ表示されます。

## Wi-Fiの状態

サウンドバーのWi-Fi接続の状態を示します。

ライトバーの状態	システムの状態
白の点滅	Wi-Fiに接続中
白に点灯してから次第に消灯する	Wi-Fiに接続しました



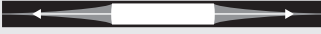


## Bluetooth接続の状態

モバイル機器のBluetooth接続の状態を示します。

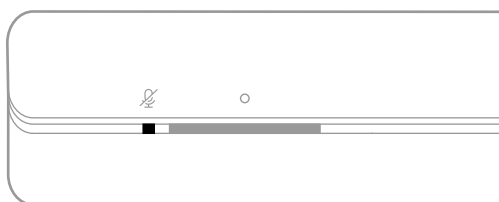
ライトバーの状態	システムの状態
青の点滅	モバイル機器に接続できます
白の点滅	モバイル機器に接続中
白に点灯してから次第に消灯する	モバイル機器に接続しました
白のライトが2回点滅してから消灯する	デバイスリストを消去中

## 音声アシスタントの状態

音声アシスタントの状態を示します。

ライトバーの状態		システムの状態
消灯		音声アシスタントはアイドル状態です
白のライトが中央に移動して点灯		音声アシスタントがリクエストを待っています
白のライトが両端に移動		音声アシスタントが考えています
白の点滅(フル)		音声アシスタントが話しています
黄色の点滅		音声アシスタントから通知があります

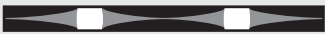

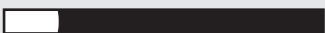
## マイクオフインジケータ



インジケータの状態	システムの状態
赤の点灯	マイクがオフです







## メディアの再生と音量調節

メディアの再生と音量を操作しているときのサウンドバーの状態を示します。

ライトバーの状態		システムの状態
中央の2つのライトが白で点灯		再生/一時停止
ライトバーの右端が白で点滅		音量を上げる
ライトバーの左端が白で点滅		音量を下げる

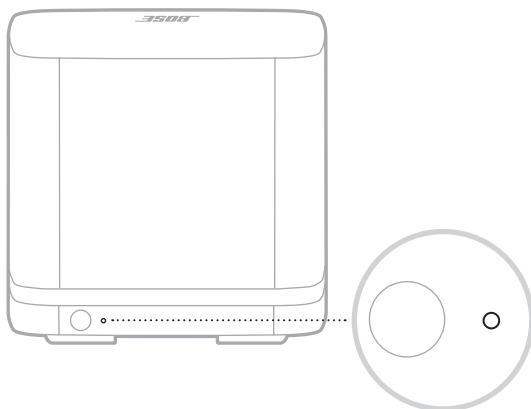
## アップデートとエラーの状態

ソフトウェアのアップデート状態とエラーの警告を示します。

ライトバーの状態		システムの状態
オレンジの点灯		Wi-Fiセットアップを実行中です
白のライトが右から左へ移動		アップデートをダウンロードしています
白のライトが左から右へ移動		サウンドバーをアップデートしています
オレンジの4回点滅		ソースエラー、Bose Music アプリを参照してください
赤の4回点滅		一時的にリクエストが受け付けられません。後でやり直してください
赤の点灯		サウンドバーのエラー、Boseカスタマーサービスに連絡してください

## ベースモジュールの状態

ベースモジュールの背面にあるインジケータは、ベースモジュールの状態を示します。





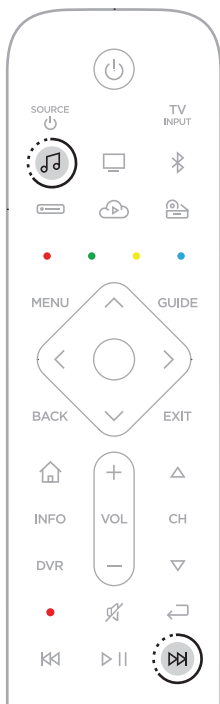
インジケータの状態	システムの状態
白の点灯	サウンドバーに接続されています
消灯	省電力モード
赤の点滅	エラー、Bose カスタマーサービスに連絡してください

## サウンドバーをアップデートする

サウンドバーがBose Musicアプリに接続され、Wi-Fiネットワークに接続されている場合、サウンドバーは自動的にアップデートされます。

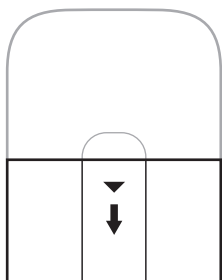
## WI-FI機能のオン/オフを切り替える

ライトバーが白で2回点滅してから次第に消灯するまで、リモコンのBose Music ボタン  とトラック送りボタン  を同時に長押しします。

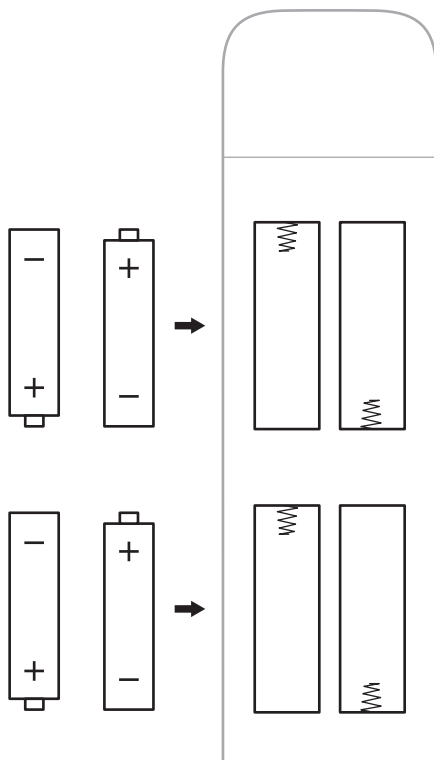


## リモコンの電池の挿入

1. リモコンの裏側にある電池カバーをスライドして開きます。



2. 付属の単三形アルカリ乾電池4本を入れます。電池ケースに表示されている + と - の向きと、乾電池の + と - の向きを正しく合わせてください。



3. 電池カバーをスライドして元に戻します。



## システムのお手入れについて

システムの外装は柔らかい布でから拭きしてください。

### 注意:

- システムの上に液体がこぼれたり、開口部に液体が入り込んだりしないようにしてください。
- システムに空気を吹き付けしないでください。
- システムに掃除機をかけないでください。
- システムの近くでスプレー等を使用しないでください。
- 溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。
- 開口部に異物が入り込まないようにしてください。

## 交換部品とアクセサリー

交換部品とアクセサリーは、ボーズ製品取扱店、弊社Webサイト、またはお電話によるご注文でご購入いただけます。

次のサイトをご参照ください。 [worldwide.Bose.com/Support/SSB](http://worldwide.Bose.com/Support/SSB)

## 保証

製品保証の詳細は弊社Webサイトをご覧ください。

製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイトから簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

## 最初にお試しいただくこと

システムに問題が生じた場合は、下記の点をご確認ください。


- サウンドバーとベースモジュールの電源コードを抜き、30秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。
- すべてのケーブルをしっかりと接続します。
- システムの状態を確認します(43ページを参照)。
- サウンドバーを干渉源になるような電気製品(無線ルーター、コードレス電話、テレビ、電子レンジなど)から30～90cm以上離します。
- サウンドバーが正しく動作するように、無線ルーターやモバイル機器の推奨通信範囲内へ移動します。
- 設置ガイドに沿ってシステムを設置します(15ページを参照)。

## その他の対処方法


問題が解決しない場合は、次の表を参照して一般的な問題の症状と対処方法をご確認ください。それでも問題が解決できない場合は、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。

次のサイトをご参照ください。 [worldwide.Bose.com/contact](http://worldwide.Bose.com/contact)


症状	対処方法
テレビにHDMI eARC (またはARC)端子や光デジタル音声端子がない	同軸デジタルケーブル、3.5mmステレオ音声ケーブル、アナログ-ステレオケーブルなどを使用して、オーディオコンバーターを介してテレビを接続します(別途ご購入ください)。必要なコンバーターとケーブルの種類は、お持ちのテレビで使用できる音声出力端子の種類によって異なります。
システムの電源が入らない	サウンドバーとベースモジュールの電源コードを別の電源コンセントに差し込みます。 リモコンを使用してシステムの電源をオンにします(25ページを参照)。 サウンドバーとベースモジュールの電源コードを抜き、30秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。
リモコンが正しく機能しないことがある、またはまったく機能しない	電池ケースに表示されている+と-の向きと、乾電池の+と-の向きを正しく合わせてください(48ページを参照)。 電池を交換します(48ページを参照)。 リモコンがサウンドバーの操作可能範囲内(6m以内)にあることを確認します。 リモコンとサウンドバーの間に障害物がないことを確認します。

症状	対処方法
音が途切れる、聞こえない	<p>ライトバーの両端が点滅している場合、システムはミュートされています。ミュート/ミュート解除ボタン  を押して、システムをミュート解除します。</p> <p>お使いのモバイル機器がミュートされていないことを確認します。</p> <p>システムの音量(28ページを参照)またはモバイル機器の音量を上げます。</p> <p>別のソースに切り替えてみます(26ページを参照)。</p> <p>別のアプリケーションまたは音楽サービスからオーディオを再生します。</p> <p>Wi-Fiソースからのオーディオの場合は、ルーターをリセットします。</p> <p>モバイル機器を再起動します。</p> <p>対応しているBluetooth機器を使用していることを確認します。</p> <p><b>注:</b> Bluetoothヘッドホンをサウンドバーに接続することはできません。</p> <p>サウンドバーのHDMIケーブルがテレビの<b>HDMI eARC</b>または<b>ARC (Audio Return Channel)</b>と表示されているポートに接続されていることを確認します。標準HDMIポートには接続しないでください。テレビにHDMI eARC端子またはARC端子がない場合は、光デジタルケーブルを使用してサウンドバーに接続します(57ページを参照)。</p> <p>サウンドバーがテレビのHDMI eARC端子またはARC端子に接続されている場合は、テレビのシステムメニューで<b>Consumer Electronics Control (CEC)</b>機能が有効になっていることを確認します。CEC機能はメーカーによって別の名称で呼ばれていることがあります。テレビの取扱説明書をご覧ください。</p> <p>サウンドバーのHDMIケーブルをテレビのHDMI eARC端子またはARC端子から取り外して、再度接続します。</p> <p>光デジタルケーブルをテレビの音声出力(<b>Output</b>または<b>OUT</b>)端子に接続します。音声入力(InputまたはIN)端子には接続しないでください。</p> <p>サウンドバーとベースモジュールの電源コードを抜き、30秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。</p>

症状	対処方法
<p>テレビから音が出る</p>	<p>サウンドバーのHDMIケーブルがテレビの<b>HDMI eARC</b>または<b>ARC (Audio Return Channel)</b>と表示されている端子に接続されていることを確認します。テレビにHDMI eARC端子またはARC端子がない場合は、光デジタルケーブルを使用してサウンドバーに接続します(57ページを参照)。</p> <p>テレビの内蔵スピーカーをオフにします。テレビの取扱説明書をご覧ください。</p> <p>サウンドバーがテレビのHDMI eARC端子またはARC端子に接続されている場合は、テレビのシステムメニューで<b>Consumer Electronics Control (CEC)</b>機能が有効になっていることを確認します。CEC機能はメーカーによって別の名称で呼ばれていることがあります。テレビの取扱説明書をご覧ください。</p> <p>サウンドバーのHDMIケーブルをテレビのHDMI eARC端子またはARC端子から取り外して、再度接続します。</p> <p>テレビの音量を最小に設定します。</p> <p>HDMIケーブル(58ページを参照)と光デジタルケーブル(57ページを参照)を両方使用してサウンドバーに接続します。</p>
<p>音質が良くない、音が歪む</p>	<p>別のソース機器で試してみます(可能な場合)。</p> <p>テレビがサラウンドサウンド出力に対応していることを確認します。テレビの取扱説明書をご覧ください。</p> <p>別の機器からオーディオが再生されている場合は、その機器の音量を下げます。</p> <p>設置ガイドに沿ってシステムを設置します(15ページを参照)。</p> <p>Bose Musicアプリを使用して低音を調整します(29ページを参照)。</p> <p>テレビの内蔵スピーカーをオフにします。テレビの取扱説明書をご覧ください。</p> <p>ADAPTIQ自動音場補正を実行します(22ページを参照)。</p>
<p>ベースモジュールから音が聞こえない</p>	<p>ベースモジュールのステータスインジケータが白に点灯し、ベースモジュールがサウンドバーに接続されていることを確認します(46ページを参照)。</p> <p>別のソースに切り替えてみます(26ページを参照)。</p> <p>音楽や映画など、低音が含まれる音声を再生していることを確認します。</p> <p>Bose Musicアプリを使用して低音を調整します(29ページを参照)。</p> <p>設置ガイドに沿ってベースモジュールを設置します(15ページを参照)。</p> <p>Bose Musicアプリでソフトウェアが最新のものであることを確認します。</p>
<p>システムで正しいソース機器からの音が再生されない、またはしばらくしてから正しくないソース機器に切り替わる</p>	<p>Bose Musicアプリを使用して、CEC機能を「<b>Alternate(個別指定)</b>」に設定します。</p> <p>ソース機器のCEC機能を無効にします。詳細については、接続機器の取扱説明書をご覧ください。</p> <p>HDMIケーブル(58ページを参照)と光デジタルケーブル(57ページを参照)を両方使用してサウンドバーに接続します。</p>



症状	対処方法
<p><b>サウンドバーをWi-Fiネットワークに接続できない</b></p>	<p>Bose Music アプリで、正しいネットワーク名を選択して、ネットワークのパスワードを入力します(大文字と小文字を区別して入力してください)。</p> <p>サウンドバーとモバイル機器が同じWi-Fiネットワークに接続されていることを確認します。</p> <p>ネットワークの設定情報を変更した場合は、21ページをご覧ください。</p> <p>セットアップに使用するモバイル機器のWi-Fi機能を有効にします。</p> <p>モバイル機器で開いている他のアプリケーションを終了します。</p> <p>モバイル機器とルーターを再起動します。</p> <p>ルーターが2.4GHz帯と5GHz帯の両方に対応している場合は、モバイル機器とサウンドバーが同じ周波数帯を使用して接続していることを確認します。</p> <p><b>注:</b> 各周波数帯に固有の名前を付けて、正しい周波数帯に接続していることを確認してください。</p> <p>ルーターをリセットします。</p> <p>サウンドバーとベースモジュールの電源コードを抜き、30秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。モバイル機器でBose Musicアプリをアンインストールして再インストールし、セットアップをやり直します。</p> <p>Ethernetケーブルを使用してネットワークに接続します。</p>
<p><b>サウンドバーをBluetooth機器に接続できない</b></p>	<p>モバイル機器のBluetooth機能をオフにしてから、オンにします。Bluetoothリストからサウンドバーを削除します。もう一度接続してみてください(39ページを参照)。</p> <p>別のモバイル機器と接続して試してみてください(39ページを参照)。</p> <p>対応しているBluetoothモバイル機器を使用していることを確認します。</p> <p><b>注:</b> Bluetoothヘッドホンをサウンドバーに接続することはできません。</p> <p>モバイル機器のBluetoothデバイスリストからサウンドバーを削除して、接続し直します(39ページを参照)。</p> <p>サウンドバーのデバイスリストを消去して(41ページを参照)、接続し直します(39ページを参照)。</p>
<p><b>AirPlayを使用して音楽をストリーミング再生できない</b></p>	<p>サウンドバーの電源がオンになっていて、通信範囲内にあることを確認します(17ページを参照)。</p> <p>Apple製品とサウンドバーが同じWi-Fiネットワークに接続されていることを確認します。</p> <p>Apple製品をアップデートします。</p> <p>サウンドバーが最新の状態であることを確認します(47ページを参照)。</p> <p>ストリーミング再生する音楽アプリでAirPlayアイコン  が見つからない場合は、コントロールセンターから音楽をストリーミング再生してください。</p> <p>その他のサポート情報は次のサイトをご覧ください。  <a href="https://www.apple.com/jp/airplay">https://www.apple.com/jp/airplay</a></p>

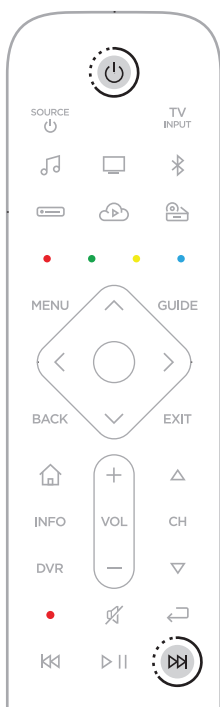
症状	対処方法
モバイル機器でBose Musicアプリが動作しない	<p>お使いのモバイル機器がBose Musicアプリに対応しており、システム最小要件を満たしていることを確認します。詳細については、モバイル機器のアプリストアをご参照ください。</p> <p>モバイル機器でBose Musicアプリをアンインストールしてから、アプリを再インストールします(20ページを参照)。</p>
別のBoseアカウントに追加する際にサウンドバーが表示されない	<p>Bose Musicアプリを使用して、サウンドバーの共有が有効であることを確認します。</p> <p>サウンドバーとモバイル機器が同じWi-Fiネットワークに接続されていることを確認します。</p>
Alexaが反応しない	<p>AlexaがBose Musicアプリを使用して設定されていることを確認します(30ページを参照)。</p> <p><b>注:</b> Bose Musicアプリを使用してサウンドバーを設定し、Wi-Fiネットワークに接続する必要があります。</p> <p>Amazon Alexaが利用可能な国にいることを確認します。</p> <p>マイクオフインジケーターが赤に点灯していないことを確認します。マイクをオンにするには、31ページをご覧ください。</p> <p>Bose Musicアプリで設定した名前を言っていることを確認します。複数のスピーカーが同じ名前の場合、Alexaアプリで設定した名前を使用するか、Bose Musicアプリで名前を変更します。</p> <p>その他のサポート情報は次のサイトをご覧ください。  <a href="https://www.amazon.com/usealexa">https://www.amazon.com/usealexa</a></p>
Googleアシスタントが反応しない	<p>GoogleアシスタントがBose Musicアプリを使用して設定されていることを確認します(30ページを参照)。</p> <p>モバイル機器をWi-Fiに接続します。</p> <p>Googleアシスタントが利用可能な国にいることを確認します。</p> <p>最新バージョンのGoogleアシスタントアプリを使用していることを確認します。</p> <p>お使いのモバイル機器が対応していることを確認します。</p> <p>Bose Musicアプリを使用して、サウンドバーからGoogleアシスタントを削除します。その後、もう一度Googleアシスタントを追加します。</p> <p>デフォルトの音楽サービスとして、PandoraまたはSpotifyを選択します(35ページを参照)。</p> <p>Bose MusicアプリとGoogleアシスタントアプリでは、必ず同じ音楽サービスのアカウントを使用してください。</p> <p>Googleアシスタントがリクエストをサポートしていない場合があります。新しい機能も随時追加されます。</p> <p>その他のサポート情報は次のサイトをご覧ください。  <a href="https://support.google.com/assistant">https://support.google.com/assistant</a></p>

症状	対処方法
<p><b>Google アシスタントのアカウントに基づく情報の設定を変更する</b></p>	<p>アカウントに基づく情報を無効にしたり、使用するアカウントを変更したりするには、Google アシスタントアプリの[設定]メニューを使用します。</p>
<p><b>プリセットが反応しない</b></p>	<p>プリセットが設定されていることを確認します(36ページを参照)。 Bose Music ボタン  を押して、サウンドバーに正しいソースが設定されていることを確認します。</p>

## サウンドバーをリセットする

工場出荷時の設定にリセットすると、ソース、音量、ネットワーク、ADAPTiQ自動音場補正などのすべての設定がサウンドバーから消去され、工場出荷状態となります。

1. ライトバーが白で2回点滅してから次第に消灯するまで、リモコンの電源ボタン  とトラック送りボタン  を同時に5秒間長押しします。



サウンドバーが再起動します。リセットが完了すると、ライトバーがオレンジ色に点灯します。

2. サウンドバーのネットワーク設定とオーディオ設定を元に戻すには、以下の手順に従います。
  - a. モバイル機器でBose Musicアプリを起動し、サウンドバーをネットワークに追加します(「Bose Musicアプリを既にお使いのユーザー」(21ページ)を参照)。

**注:** アクセサリーを接続するようにアプリに表示されたら、**Bose Soundbar Universal Remote**を選択します。

- b. Bose Musicアプリを使用してADAPTiQ自動音場補正を実行します。



Bose Music アプリを起動すると、システムをテレビに接続する手順が表示されます。Bose Music アプリを使用できない場合は、以下の手順に従ってください。

## 接続オプション

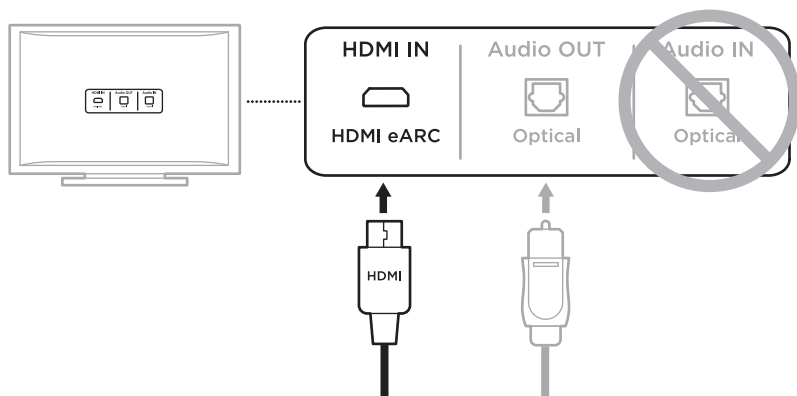
以下の接続オプションからどちらかを選択して、テレビとサウンドバーを接続します。

- **オプション1(推奨):** HDMI eARC 端子または ARC (Audio Return Channel) 端子接続
- **オプション2:** 光デジタル接続

**注:** 推奨されるオプションは、HDMI ケーブルを使用してサウンドバーをテレビの HDMI eARC 端子または ARC 端子に接続することです。

1. テレビの背面にある **HDMI IN** 端子および **Audio OUT** (光デジタル) 端子パネルを探します。

**注:** お使いのテレビによっては、端子パネルが図と異なる場合があります。端子の形状で確認してください。



**オプション1(推奨)**  
**HDMI eARC 端子または ARC**  
**端子接続:** この接続には HDMI  
 ケーブルを使用します。

**オプション2**  
**光デジタル接続:** お持ちの  
 テレビに HDMI eARC 端子  
 または ARC 端子がない場合  
 は、この接続には光デジタ  
 ルケーブルを使用します。

2. 音声ケーブルを選択します。

## サウンドバーをテレビに接続する

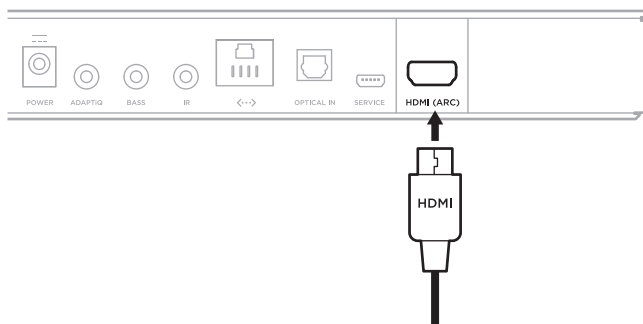
音声ケーブルを選択したら、サウンドバーとテレビを接続します。

### オプション1 (推奨): HDMI eARC 端子または ARC 端子接続

1. HDMIケーブルのプラグをテレビの**HDMI eARC**端子または**ARC**端子に接続します。

**注:** HDMIケーブルはテレビのHDMI eARC端子またはARC端子に差し込んでください。標準のHDMI端子には接続しないでください。お持ちのテレビにHDMI eARC端子またはARC端子がない場合は、57ページをご覧ください。

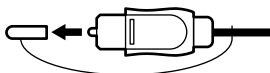
2. ケーブルの反対側を、サウンドバーの**HDMI (ARC)**端子に差し込みます。



## オプション2: 光デジタル接続

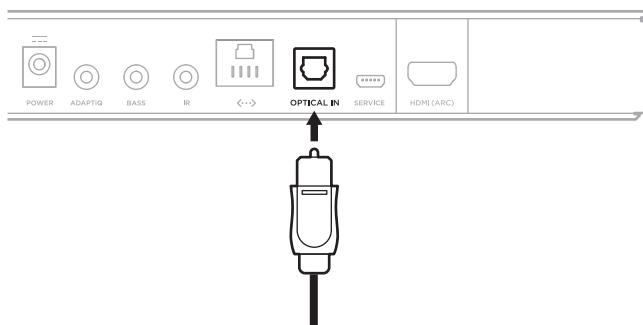
お持ちのテレビにHDMI eARC端子またはARC端子がない場合は、光デジタルケーブルを使用してサウンドバーとテレビを接続します。

1. 光ケーブル両端のプラグから保護キャップを取り外します。



**注意:** プラグの向きを間違えて挿し込むと、プラグや端子が破損する恐れがあります。

2. 光ケーブルのプラグをテレビの**OPTICAL OUT** (光デジタル音声出力)端子に接続します。
3. 光ケーブルの反対側のプラグを持ちます。
4. プラグの向きをサウンドバーの**OPTICAL IN**端子に合わせて、慎重に差し込みます。





**注:** 端子にはカバーが付いていて、プラグを差し込むとカバーが開きます。

5. カチッと音が聞こえるか、指先に感触があるまでプラグをしっかりと差し込みます。



## 音が出ることを確認する

**注：**音響パフォーマンスを十分にお楽しみいただくためには、テレビの内蔵スピーカーをオフにしてください。詳細については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

1. テレビの電源をオンにします。
2. CATV/BS/CS用チューナーやその他の外部機器を使用する場合：
  - a. ソース機器の電源をオンにします。
  - b. テレビの入力を正しく選択します。
3. サウンドバーの電源がオンになっていない場合は、リモコンの電源ボタン  を押します。  
ソース機器の音がシステムから聞こえます。
4. ミュート/ミュート解除ボタン  を押します。

テレビの内蔵スピーカーやシステムから音が聞こえなくなります。

**注：**システムをミュートしてもテレビの内蔵スピーカーから音が聞こえる場合は、52ページをご覧ください。



829293-0010